

西建協だより

168号

2008年
7月



西多摩地域の発展を願う

奥多摩町長 河村 文夫



私は、奥多摩町長として五月二十四日から二期目の町政運営をスタートいたしました。

心境新たに西多摩地域の市町村長さんと連携し、西多摩地域の活性化の推進に向けて、まちづくりを推進して参ります。

現在、自治体を取り巻く行財政環境は、国の三位一体改革の影響等大変厳しい局面にたたされています。私は、町長として一期四年の経験や、今まで職員として培ってきた行政経験、近隣市町村や東京都との貴重な信頼関係を大切に、行政の継続性、信頼性が重要であると考えます。

今後の奥多摩町の行財政運営につきましては、町民皆様をはじめ関係者の方々の十分な議論を経て、地道で確実な行政改革を実施し、簡素で効率的な身の丈にあった堅実な行財政運営を図ってまいります。

多くの町民皆様が何を考え、何を求めているのか自分自身の肌で感じ、スピード感をも

理事就任のご挨拶

戸高建設株式会社

専務取締役 戸高弘喜

この度、西多摩建設業協同組合第四十二回通常総会におきまして理事という大役にお

おせつかりました戸高と申します。まだまだ若輩者ではございますが、皆様方にご指導を賜りながら、精一杯努力してまいりたいと思

います。デジタルカメラ、電子入札、電子納

つて公明・公正な町政運営を基本姿勢として、率先垂範、不偏不党を政治信条として粉砕身全力投球してまいります。

西多摩建設業協同組合会員皆様の現況につきまして、西多摩地域の社会基盤整備の進捗、コンプライアンスの遵守、安全な施工管理等により大変厳しい経営

状況であると考えますが、それぞれの地域の人が日々「安全・安心」して生活ができる基礎的インフラ整備を会員皆様が担っていることも衆目の一致するところでもあります。

このことから、西多摩地域のそれぞれの地域実状は違いますが、私たち自治体を運営する者にとつては、それぞれの地域の発展と「安全・安心」して地域の皆様が住み続けることが出来る地域づくりが最大の願いであります。

このためには、西多摩建設業協同組合及び会員皆様のご支援ご協力が不可欠であります。今後も組合及び会員皆様の企業が益々躍進、ご発展することを祈念申し上げます。

品等建設業界の中でも急速にデジタル化の波が進んでいます。

そこで、私はよく人間はデジタルかアナログかどっちだろうと考えたとき、私はアナログじゃないかと思っています。間違ひもあり失敗もあり義理もあり恩もあり何よりも機械にはない心というものが

理事就任のご挨拶

株式会社上坂重機開発

代表取締役 上坂 健一

この度、第四十二回西多摩建設業協同組合通常総会において理事の選任をうけまして、身を引き締めて組合の運営に務めなければと思

私達建設業界のことになると明るい兆しはなく、建設業・公共工事に対して厳しい目で見られている中で、追い討ちをかけるように原料・原油高による資材等価格上昇が始まっています。

原油市場において新興国の需要拡大はもとより、市場で投機家たちが夢中になっているマネーゲームの煽りを受けなくてはならないのかと思うと……

そんな中、東京都においても資材等の高騰も原因になっている最近の入札不調の対策として、「単品スライド条項」が施行されました。発注者負担として対象資材の価格上昇に伴う増額部分のうち、対象

最近の凶悪事件やいじめの問題など、今の子供達や大人達を含め、テレビゲーム、携帯電話・パソコンを含むインターネット等で人と触れ合わず自分の世界を作り、現実と空想の区別もつかない等々、便利になった反面人間の心の部分が無くなってしまった結果おきいてるのではないかと思います。人間として、一番大事な心の部分

がどどん置いていかれている様な気がします。沢山の人の相談したり皆と飲食を共にしたりと、以前

事費の1%を超える額となっておりますが、運用基準の主要項目になると、

◎対象資材 — 鋼材、燃料油の中から、さらに具体的な品目を選定する。

◎対象工事費 — 既済部分の取り扱いについて規定する。

◎契約変更基準 — 契約変更の対象となる変動額の基準を設定する。

◎変動額算出方法 — 変動後資材価格の設定方法や変動額算出式を設定する。

◎契約変更手続き — 契約変更にあたっての協議方法、契約変更の時期等を規定する。

これについて詳細は今後、策定する。とあります。

条項の適用実施は助かることですが、これを読む限り難解に思え、実

際にはどれだけの工事で適用を受けることが出来るのでしょうか？話は変わりますが、ある冊子に「地頭力の育成を」という記事が載っていました。時代が複雑化していく中、何が正しい正解なのか？が分からない時代になってきて、正解のある問題に優等生的に答えを出すだけでなく、正解のない問題に答えを出す地頭力が求められている、と言う内容です。なるほど今

まさに私達、地域の建設業界が生き残るためにも同様なことが言えるのではないかと思います。雑駁な事を書いてしまいました。最後に西建協並び組合員の皆様のご発展にお役に立てるよう努める所存で御座いますので、何卒ご指導、お力添えの程よろしくお願いいたします。

は普通に行われた事が今は少なくなつたと実感します。仕事が忙しく、疲れなどで休みたいのも事実ですが、家族の時間や仕事・プライベートでも沢山の人間といるんな話をする機会があつたなら、秋葉原のような凶悪犯罪もなかったのではないかと思います。

今後、建設業界も飛躍的にデジタル化が進んでいくと思えます。仕事上、必要不可欠で時代が求めているのも事実で、出来ないかと死活問題まで発展してしまいます。

新しいものを取り入れる中で、昔か

らの良い部分を活かして、これから組合を通じて皆様方と色々な話が出来るたらいいなと思うのと同時に、今建設業界で抱えている様々な問題も多少は解決できるのではないかと思います。

私の独り言のような文章で申し訳ありませんでしたが、最後に微力ではございますが少しでもお役に立ちたいと出来る限り一生懸命頑張る所存ですので、ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

平成20.21年度委員会組織図

平成20年7月

担当副理事長 細沼順人	担当副理事長 酒井政修	担当副理事長 井上忠男
委員会		
総務委員会	事業委員会	広報委員会
委員長 岩浪 岳史	委員長 加藤 隆	委員長 小池 正明
副委員長 榎森 厚志	副委員長 古屋 英司	副委員長 上坂 健一
委員	事業部会 委員	技術安全部会 委員
武田 雅由 理事 宮崎一二三 (有)宮崎土木 土屋 保明 土屋建設(株)	熊谷 拓治 熊谷建設(株) 川口 勉 東京機工土木(株) 小高 城司 (株)村尾重機	岡野 恵之 (株)岡野組 清水 誠 清水土木建設(株) 市川 徹 奥多摩建設工業(株)
		戸高 弘喜 理事 藤本 祐一 昭和建設(株) 柴田 拓也 朝日建設(株) 馬場 英明 (株)馬場組

◇災害対策特別委員会◇
委員長 井上忠男
副委員長 酒井政修
委員 古屋英司・細沼順人
井上忠男
酒井政修
古屋英司
細沼順人
上坂健一
鈴木誠
加藤隆
武田雅由

◇経営講習会のお知らせ◇

事業委員会

平成20年度経営講習会を東日本建設業保証(株)のご協力により下記の通り開催致します。

日時 8月27日(水) 14時～

会場 三階会議室

テーマ 入札制度における総合評価方式の取り組み事例

講師 大野春雄

受講対象者 経営者・工事管理者

〈講習の概要〉

公共工事に係る入札制度は、社会・経済情勢を反映し変化してきている。入札契約は、透明性・公正性・客観性・競争性を高めていくことが必要である。

ここでは、多様な入札契約方式が実施されるなかで、国・都でスタートした技術提案型の総合評価方式の事例について紹介する。技術提案をするためにはVE技術が必要であり、その適用方法の検討と組織的なVEスキルが重要である。入札時VE、契約VE、設計VEの提案状況と総合評価方式の事例を確認し、今後の入札制度の方向性を見極める。

◇死を招く熱中症を防げ◇
建災防・西多摩分会
毎年、夏に集中して熱中症が発生しています。
作業前・作業中 所長・職長等による体調確認。
熱中症の予防対策を徹底しよう。
・十分な休憩時間や作業休止時間の確保、作業服は吸湿性・通気性の良いもの、帽子は通気性の良いものを着用。
・作業者の健康状態をあらかじめ把握し、作業開始前はもちろん、作業中も巡視などにより作業者の健康状態を確認。
・作業を管理する者及び作業者に対し、あらかじめ熱中症の症状・予防方法・緊急時の救急措置・熱中症の事例について労働衛生教育を実施して下さい。
◇救急措置◇
作業開始前にあらかじめ緊急連絡網を作成、関係者に知らせておく。
ださい。また作業現場の近くの病院や診療所の場所を確認しておく。
熱中症は、早期の措置が大切です。少しでも異常がみられたら、
・涼しいところで安静にする(安静中は、一人にさせない)
・水やスポーツドリンクなどをとらせ。直ちに医師の手当てを受ける。

《 6月18日 理事会報告》

①報告事項

- ・若手経営者の会総会報告
- ・西多摩分会定期総会報告
- ・三多摩建設業連合会定期総会報告
- ・委員会報告
- ・その他

②審議事項

- ・総会懇親会会計報告 出席者 75名
- ・暴力団排除関連団体連絡会総会の件
- ・20年度 委員会委員構成の件
- ・退任役員記念品支給の件

◇特集◇ 多摩川に掛かる橋 第19回

◎鮎美橋

釜の淵公園にかけられた二つの橋のひとつ。多摩川に初めての斜張橋。あたりの森の間から見え隠れする姿は美しい。橋の上からの眺めも爽やか。川原にはいつも人影が絶えない。

*橋種：人道橋 橋長=120.0m 歩道=3m
形式：2径間連続斜張橋
下部：橋台2基 橋脚1基
施工年月：昭和58年3月 水面まで10m



◎調布橋

秋川街道に架けられ、古くから交通の要所とされた。当時は少し下流千ヶ瀬の渡しが利用されていた。

明治26年、友田・長淵・駒木野・河辺・千ヶ瀬・日向和田の諸村集まり調布村となっていたが、大正10年に当時の有志により長さ106mの吊り橋が造られた。(千ヶ瀬の渡し姿を消す)調布橋の名をとる。昭和10年にアーチ型の本格的な橋となり、規模や技術について注目を浴びた。さらに交通の増により、現在の調布橋は平成5年に架け替えられた3代目です。



*橋種：道路橋
橋長=113.0m 車道=10m 歩道3m×2 形式：上路アーチ橋
施工年月：平成5年3月 水面まで18m

6月事業報告

- 9日 正副理事長会
- 11日 広報委員会167号編集発行
- 12日 三多摩建設業連合会 定期総会
- 13日 建災防西多摩分会 定期総会
安全週間説明会 14時～
会場：羽村市スポーツセンター会議室
- 18日 理事会
- 26日 若手経営者の会 役員会

7月事業計画

- 1日 災害対策特別委員会
- 4日 現場パトロール(西多摩分会)
- 4日 事業委員会
- 10日 広報委員会168号編集発行
- 15日 総務委員会
- 16日 正副理事長会
- 16日 理事会